



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校

La Primavera 春

校長 中島 豊

新年早々唐突ですが、春～「プリマベーラ」(伊、英: Primavera)というタイトルが付いた絵画をご存知ですか?

ルネサンス期のイタリア人画家 S・ボティチエッリが、メディチ家の依頼で1482年頃に描いた、フィレンツェ・ウフィツィ美術館所蔵の名作です。等身大で愛の女神ビーナスや春の女神フローラ等の古いギリシャ・ローマの神々が群れる異教的・官能的なルネサンスの代表作です。

ルネサンスは仏語では直訳すれば「再生」という意味です。14～16世紀にイタリアを中心に誕生し、絵画、建築、彫刻などに影響を与えた史上最大の芸術運動で、「古典古代の文化を復興しようとする歴史的文化革命」(ウィキペディア・フリー百科事典より)と言われます。

解説じみて恐縮ですが、それまでの絵画は、教会が画家に発注し、キリストの生涯を伝道する宗教画が殆どでしたが、ルネサンスにより、従来には見られない自由な発想と技法によるムーブメントが始まったのです。

古い異教の神々を描いた表題の「春」をはじめとして、人間の理想的な造形美の集大成ともいえるミケランジェロの「天地創造」「最後の審判」、遠近法が駆使されたダビンチの「最後の晩餐」等、明暗法の技術の波及とともに相まってルネサンスの絵画は自然主義やヒューマニズムを掲げて飛躍的に拡大し、西欧人の考え方はここを起点として大きく変化したと言われます。

伝統とは、人間の行動、発言、思想および習慣に見出される歴史的存在感の総称ですが、生活の中に長い歴史を通して表れる種々の形式、価値観を指し、狭義には、集団が個別に有する場合もあるともいわれます。

天沼小の前身である旧杉並第五小学校にも、旧若杉小学校にも、校舎に一歩足を踏み入れると歴史と伝統に築かれた緊張感が漂い、それぞれの校風は子どもたちが意識する、しないに拘らず受け継がれておりました。

確かに100年を超える歴史をもっている学校には、その学校がもっている特有の雰囲気が存在します。きっとそれは、何年もの間に大河の河口付近の石の角が丸くなるように、育まれた賜物なのでしょう。日常の授業や遊びの蓄積だけでなく、運動会や周年行事

といった機会を通して、地域とともに醸成されてきた財産に違いありません。

では、それにはどのくらいの時間が必要なのでしょうか?5年の経験しかない本校では、まだまだ、戸惑いや試行錯誤の連続です。10年、20年という年月を経なければ成就できないものなのでしょうか?

そのようなことは、ありません。伝統は、それまでの歴史の中で形成されて来た種々の形態の中から、特に重んじて次世代に継承すべきものに対する精神的な立場を指すとも言われます。現在、本校が取り組んでいる特色ある教育活動や学校運営協議会、学校支援本部との地域連携は、天沼小の学風を確立させるとともに、他方面で多くの評価・賛同を得ており、もはや伝統と呼べる存在であると確信します。

名画「春」には、様々な思想や暗示が混在して、テーマ解釈は極めて難解です。しかし、絵の前に佇むと、春風に芽吹く草花やキューピッドに射抜かれる寸前の女神などの春の訪れの情景に、ルネサンス期を代表する作品としての誇り、気品と同時に、現代にも共通する喜びが漂います。

♪春よ まだ見る春 迷い立ち止まるとき
夢をくれし君の 眼差しが肩を抱く

これは、NHK 朝の連続テレビ小説の主題歌にもなった松任谷由美さんの「春よ、来い」からの抜粋です。

東京の春はまだ先ですが、来月には移転して初となる展覧会～あまぬま5th てんらんかい 2012 が開催されます。テーマである「～感じよう・伝えよう私のイメージ～」にあるようなハートフルな初春のイベントにしていきたいと思います。こうした新校舎をベースとする一つ一つの取り組みの積み重ねが、僅かではありますが、伝統の種を蒔いていくことになるのでしょう。

ルネサンスには毛頭及びませんが、ワークショップやナイトミュージアムのライトアップを楽しみ、新しい会場で行われる新しいフェスティバルを通して、地域ぐるみ、街ぐるみで芸術の火を灯し、心を広げていきませんか?

天沼小学校の春は、これからです!

..... 今月の目標

生活

礼儀正しくしましょう
(あいさつをしましょう)

保健

風邪を予防しましょう

給食

食事のマナーをきちんと
身につけましょう



1月の行事予定



日	曜	行事予定
1	火	元旦
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	冬季休業日終
7	月	始業式 4時間授業 給食始
8	火	かけあし低 SC
9	水	避難訓練 フォローアップ
10	木	天沼FP
11	金	かけあし高 SC
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	かけあし低 理科教室(3)
16	水	水曜特別時程
17	木	天沼FP 保護者会(123c)15:00~ 校内書き初め展始
18	金	かけあし高 保護者会(456)15:00~
19	土	連合図工展
20	日	
21	月	全校朝会 委員会
22	火	かけあし低 SC
23	水	水曜特別時程 校内書き初め展終
24	木	天沼FP 百人一首大会本戦
25	金	かけあし高 連合書き初め展 特別支援連合展覧会 SC
26	土	
27	日	
28	月	健康朝会 クラブ活動
29	火	かけあし低 SC
30	水	水曜特別時程
31	木	たてわり班活動
2/1	金	かけあし高 5時間授業(1~5c) 展覧会係活動(6) SC

※SCはスクールカウンセラーの来校日

校内書き初め展

17日(木)~23日(水)の期間、校内書き初め展を行っています。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆での作品です。気持ちを落ち着け、姿勢正しく、新年を迎えた喜びや希望を込めて書いた作品をぜひご覧ください。

学校支援本部コーナー

〈放課後子ども教室から〉

かつて、私たちが子どものころ、たくさんの空き地や広場がありました。学校から帰ると、ある時は野球をし、ある時はボールを持ってバレー・ポールやサッカーをしました。神社の境内、人のいない路地、町は遊び場に溢っていました。今、町は公園でさえ安全な遊び場ではありません。そして、ほとんどの近隣の公園では、サッカーポールやバットを持ち込むことが禁じられています。

東京に住む子どもたちが、体力向上が課題になっているのは、こうした環境に依るものも大きいと思います。

「あまぬまハッピーラバーラボ」は、放課後の安心・安全な居場所を子どもたちに提供しています。慣れ親しんだ学校で、いつもの友達と体を動かすことを楽しんでもらえたらと思います。

今月は、野球やサッカーなど多くの体験教室があります。寒さに負けない体をつくりましょう。

百人一首大会

各学年の予選を勝ち抜いた児童による本戦(決勝戦・3位決定戦)が1月24日(木)にアリーナにて行われます。1~3年生・こどまは1・2校時、4~6年生は3・4校時に実施です。日本かるた協会の学生チャンピオンの模範演技も行います。全校で統一した競技ルールのもと、日本の伝統・文化に触れる貴重な時間もあります。

学校運営協議会コーナー

学校運営協議会では、本年度も1月中に児童・保護者・教員全員を対象とした「学校評価」に関するアンケート調査を行います。

昨年度の第1回「学校評価」では、79%という非常に高いアンケート回収率を通して、天沼小学校の日々の活動に対する皆様の関心の高さを感じることとなりました。

昨年度に引き続き2回目となる「学校評価」では、昨年5月に配布いたしました「平成24年度 天沼小学校『学校評価』に関するご案内」の内容に基づき、

- 天沼小学校の教育活動における様々な取り組みに対する評価
- 昨年度の「学校評価」を踏まえた改善への取り組みに対する評価
- 教育活動以外の学校運営に対する評価

などの項目を中心に、アンケートにご協力いただきたいと考えております。

回収したアンケートにつきましては、各項目の集計を行うとともに、お寄せいただいたご意見・ご要望を取りまとめ、学校および学校運営協議会にて改善に向けた検討を行います。そして、3月には「『学校評価』アンケート結果」という形にて皆様にご報告させていただくとともに、平成25年度以降のよりよい教育活動および学校運営に充分に生かしてまいります。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

長縄力～心・技・体～



本校の体力向上の取り組みの一つに長縄週間があります。

11月26日(月)～12月14日(金)までを長縄週間とし、最終日の3校時に記録会を行いました。長縄では、3つの力が培われます。

体力。友達同士で声をかけ合って外に出るなど、運動するきっかけとなり、上達するにつれて、リズムも速くなり運動量も増えます。最初は上着を着て運動していた児童も途中から半袖になるなど、寒さに対する抵抗力も高まっています。

技術力。1年生は大波小波からはじめますが、高学年では5分間で500回以上を跳んでおり、学年ごとに技術の向上が見られます。そこには6年生が1年生に基本を教えたり、5年生が3年生にコツを教えたりするなど、上級生から下級生へのつながりが見えます。天沼小が「つなぐ」技術力は、6年生での連合運動会にも生かされています。

心力。何よりも培われるものは、心を一つにする力です。声を出したり、跳び方や回し方を工夫したり、「どんまい。」「大丈夫、次がんばろう。」など学級ごとにはげまし合ったりしながら取り組んでいます。また、朝の長縄記録が終わると、担任を囲む1つの輪が必ずできます。様々な工夫や話し合いを重ね、学級がひとつにまとまっていくのです。

目標を達成できた学級も、そうでない学級も、真剣に取り組んできた中で、たくさん得るものがありました。三学期は、持久走に取り組み、体力向上を目指していきます。

フレンドパーク



7月号で紹介した「天沼フレンドパーク」の経過を報告します。

活動の回数は、2学期の終わりには 13回に達し、どの学年も全7種の運動を経験することができました。2巡目となる8回目からは3年生以上は指定された運動種目の中から選択をして運動に取り組んでいます。

運動委員会による活動の準備も慣れてきました。活動後は、その場で運動をした子どもたちが、声を掛け合って素早く片付けながら、自分たちで進んで運動に取り組むようになってきました。

3学期以降は、より充実した活動になるよう、運動環境の改善や新しい種目への取り組みを推進していく予定です。

朝遊びの効果

3学期も7日の始業式から朝遊びを始めました。2年生以上の希望者が朝7:40～8:10の30分間、ランドセル等の荷物を昇降口近くの机の上においてから遊びます。毎日、町会の方が見守り当番に来てくださっています。男子は学年を超えてチームを組みサッカーをしている子が多いです。女子は一輪車や縄跳び、遊具を使った遊びも人気です。朝、体を動かすことは、脳に良い刺激を与え、集中力がアップします。また、友達と過ごすことで心が丸くなり、落ち着いて集団に溶け込むことができるそうです。朝ご飯をしっかり食べて朝遊びにぜひ、参加してみてください。

校内研究 体づくり 心 食 体 No. 6

研究主任 鳥橋修

11月7日(水)の5時間目に3年2組で体育の研究授業が行われました。ある大学の調査によると今的小学校の3・4年生の体力は、25年前の幼稚園・保育園の年長児と同じぐらいの体力レベルという報告があります。この現状を受け止め、体育の授業や体育以外での取り組み(朝のかけあし、長縄、天沼フレンドパークなど)が重要視されています。

今回の授業では、「体つくり運動」という親御さんの世代では聞きなれない授業を行いました。「体つくり運動」とは友達と触れ合いながらいろいろな動きをしたり、さまざまな用具(フラフープ、ボール、長縄、短縄、一輪車、竹馬、など)を使って運動したりして多様な動きを身に付けていくという内容です。昔は遊びの中で自然と身に着いていた動きが、今では意図的に指導しなければ経験することができなくなってしまっている運動に取り組みました。子どもたちは友達と関わって運動し、休み時間などでも日常的に取り組む姿まで見られるようになり、今後の体力向上にもつながっていくことを実感しました。これからも体育の授業のみならず、さまざまな教育活動を通して主体的に運動に取り組む「たくましい子」を育てていきたいと思います。

天沼タイム

3年生

わくわくお店番体験



毎年、キャリア教育の一環として、「働く人々の願いや喜び・苦労を、体験を通して学ぶ」ことをねらいとしたお店番体験を行っています。この体験に向けて、天沼中学校の先輩から接客マナーを教わり、江戸しぐさ講師の辻川牧子先生からはコミュニケーションの基本理念を教わりました。

また、お店の方へのインタビューやチラシ作りなど、自分が働くお店をより詳しく知る活動も行いました。当日は、レジ打ちや接客、商品の袋詰めなど初めての作業に挑戦し、お店の方に優しく教わりながら無事に体験を終えることができました。

地域のお店の協力のもと、生きた学習を実践することができ、とても感謝しています。

4年生

ユニバーサルデザインを通して学ぶもの



4年生では国語「目と心で読む」で点字について知り、いろいろなバリアフリーについて調べ学習をしました。その後、学習のまとめとして企業の方々をお招きして、ユニバーサルデザインについて学びました。

ユニバーサルデザインとは「だれもが使いやすいデザイン」のこと、ポイントは「わかりやすい」「使いやすい」「美しい」の3つであることを教えてもらいました。授業では、ユニバーサルデザインの考えを生かして、テレビのリモコンのデザインに挑戦、グループでアイデアを出し合い、発表会を行いました。

デザインの裏にある心、それは相手の立場に立って考える思いやりの心だということに気づき、どの場面でもユニバーサルデザインの考えはとても大切なことだと感じました。

5年生 ~キャリア教育~ 「とびだせ！がってん!!」 プログラム



保護者の皆様から募った出資金をもとに株式会社を立ち上げ、市場調査・商品開発・商品製造・販売を行っています。

大まかな会社組織の仕組みを知り、児童の中から社長を決め、販売促進部と製造部に別れて、自分の長所をどのように生かしていくのかを考えていく職業体験型プログラムです。

今年の5年生が立ち上げた会社は「天沼OTM株式会社」で、陶器製の「おたまおき」の製造を行っています。3学期の販売当日まで急ピッチで作業が進んでいます。商品の完成を楽しみにしてください。

6年生

裁判傍聴体験



6年生では、キャリア教育の一環として毎年、東京地方裁判所で実際の裁判を傍聴する機会を設けています。実体験を通して、豊かな社会性や規範意識、職業理解能力を育てていくことをねらいとしています。

今年も12月に学校支援本部副部長の松戸弁護士さんから、裁判の仕組みや裁判員制度について事前授業を受けたのち、保護者の皆様のご協力を得て、裁判傍聴に向かいました。

入口での厳重な検査、各階で並ぶ法廷、経験したことのない厳粛な法廷の空気の中、その人の人生を変えてしまうかもしれない審理の様子を目の当たりにして、現実社会の重さを感じることができました。

今後は、自分の進路について考え、生き方について学ぶ活動や、展覧会での案内活動、卒業に向けての活動を計画しています。



あたたかいご協力ありがとうございました！

天沼募金

ユニセフ募金… 61,349円

犬猫避難所募金… 67,497円



Takeuchi

12月18日(火)19日(水)の二日間、代表委員会主催による募金活動を行いました。今年は話し合いの結果、二本立ての募金となりました。1つは世界に目を向けてのユニセフ募金です。戦争や貧しさの中で苦しい生活を送っている子どもたちを応援しようという思いです。そして、もうひとつは犬猫避難所募金です。震災で飼い主や住む家を失った動物を救うためのボラティア活動の応援募金です。2つの募金箱には天沼小の子どもたちやそのご家族の温かい気持ちがあふれていました。ご協力本当にありがとうございました。